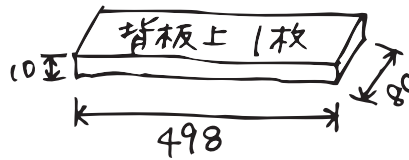
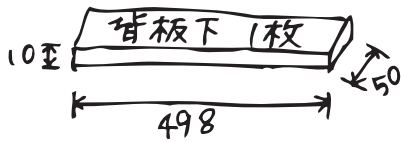
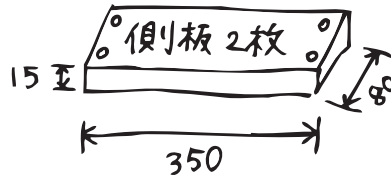
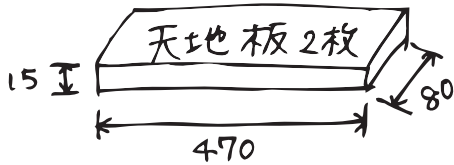


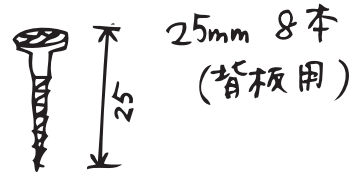
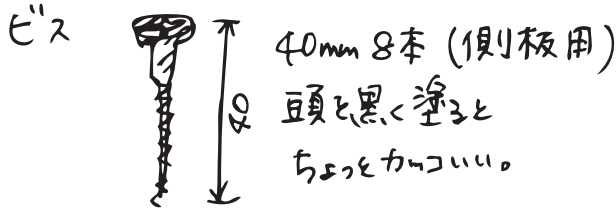
# 吉野杉のブックシェルフ

## 材料

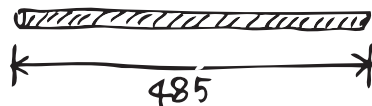
天地板 2枚 470×80×15 背板上 1枚 498×80×10  
側板 2枚 350×80×15 背板下 1枚 498×80×10  
ビス 40 ミリ程度 8本 ビス 25 ミリ 8本  
スチール棒 1本 485 10Φ



大きさを  
変えて好きな  
サイズで作っても  
OKです。



スチールの棒



直径 10 ミリ

## 必要な道具など

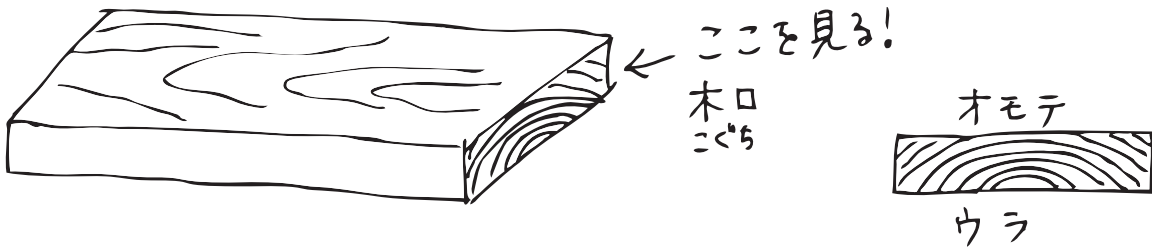


あれば楽!!  
ドリルドライバー  
インパクトドライバー  
など

木工用ボンド、プラスドライバー、サンドペーパー（150番～240番程度）  
ドライバーの代わりに、ドリルなど電動工具があれば作業が楽です。

# 木工の基本

木にはオモテとウラがあります。作る物に合わせて、適切な方向で組み立てる必要があります。



木口（こぐち）を見て、年輪の山になっている上の部分がオモテです。

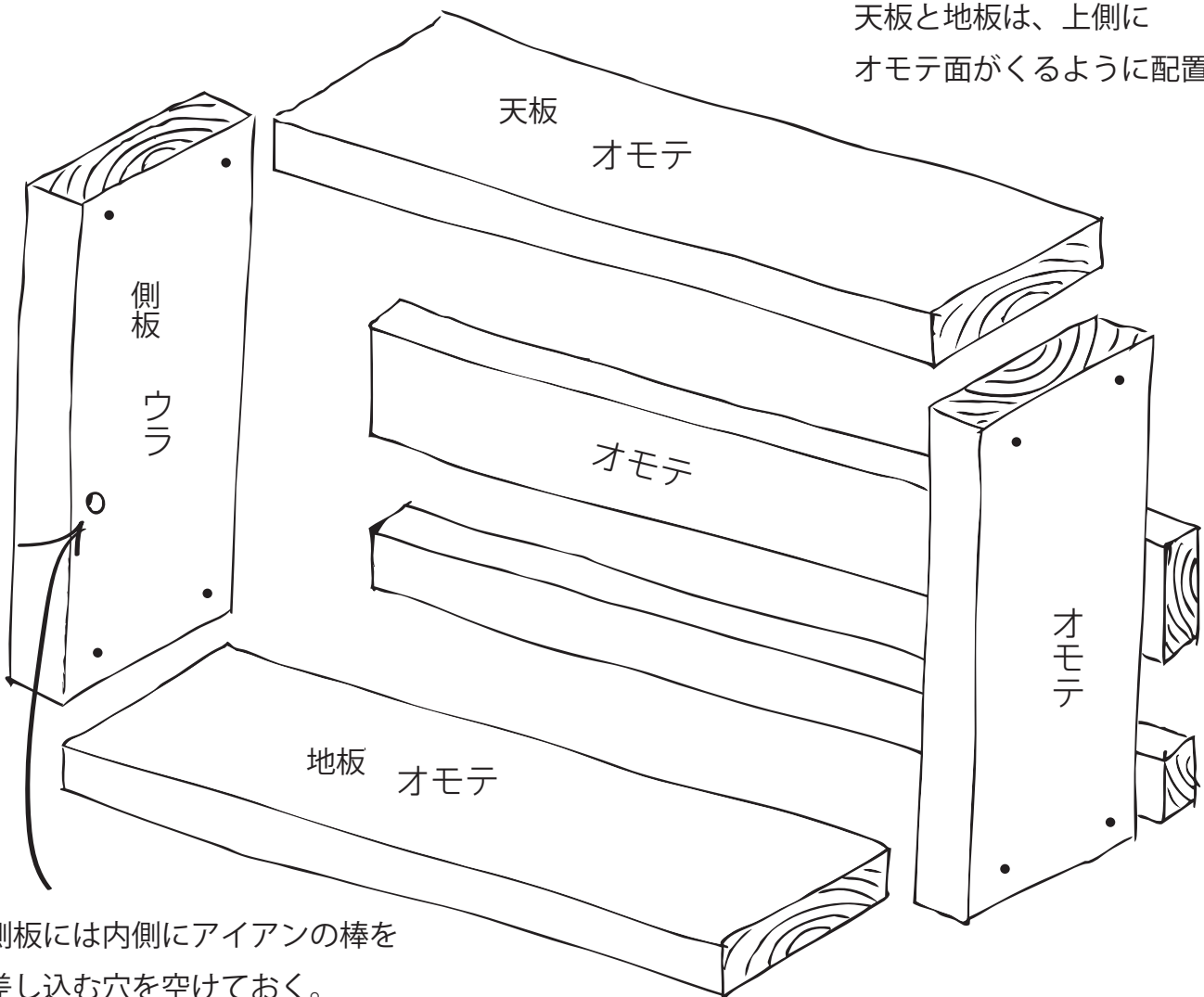
木表（きおもて）、木裏（きうら）とも言います。

基本的には、手に触れる面や表に見える部分に木表を使います。

柱目や、わかりにくい木目の場合はどちらでも構いません。

今回のブックシェルフでは、このような配置になります。

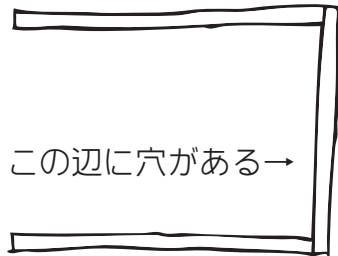
天板と地板は、上側にオモテ面がくるように配置



側板には内側にアイアンの棒を差し込む穴を空けておく。

# 作り方

① コの字の形に片側を組み立てます。40mmのビスを使います。



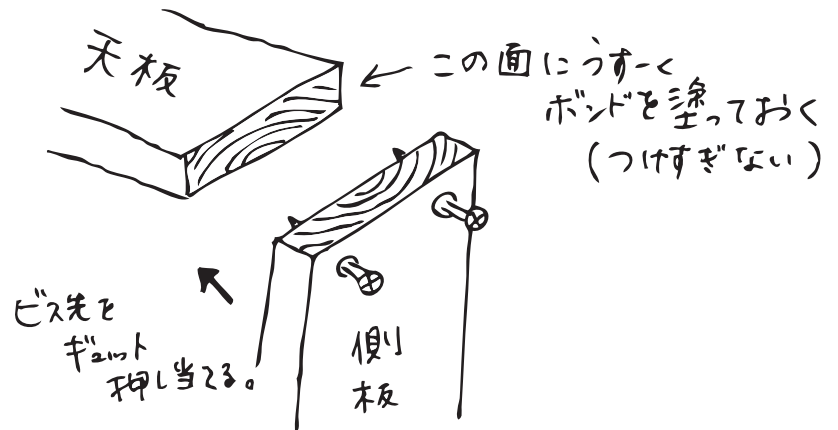
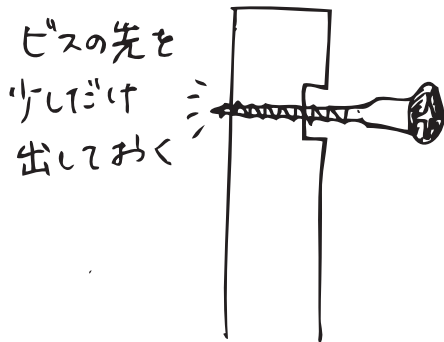
板の向きに注意！！

側板の内側にはスチールの棒を差し込む穴があります。

天板、地板は同じ材料です。

どちらも上にオモテ面が見えるように配置してください。

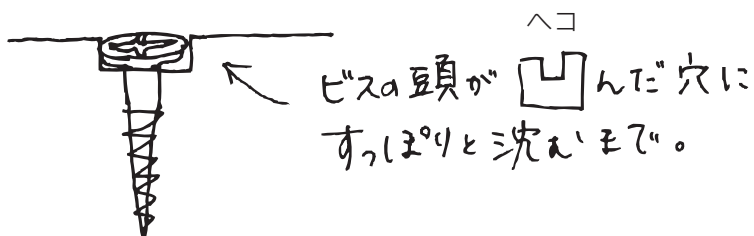
側板にビスの先が少しだけ出るように付けておいてから組み立てるとズレにくいです。



ボンドをつけてビス先をギュッと押し当てる。

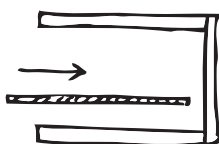
ズレていないか確認しながら、ドライバーなどでビスを締めてください。

あらかじめ下穴を開けておくと作業が楽です。



ドライバーは#2サイズを間違えるとねじ山がつぶれてしまいます。

②

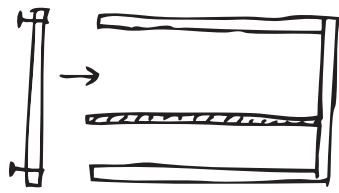


スチールの棒を穴にしっかりと差し込む。

3

反対側の側板を取り付けます。

スチール棒は出っ張ってますので、穴に入れてからビスを締めてください。



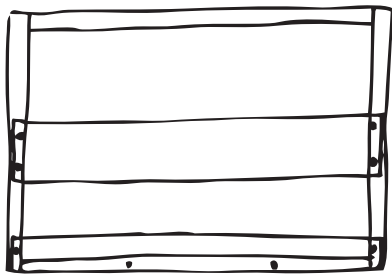
反対側の側板も同様に  
取り付ける。

4

背板を取り付けます。25mmのビスを使います。

幅が広い板が、真ん中、小さい板が下です。

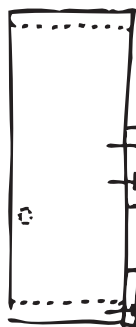
真ん中は地板と平行であれば位置はだいたい真ん中でOKです。



← 背板は（はみ出ないように）  
小さめにしています。

↑ 中の小さい方が下

スチール棒は  
前側に  
はります。→  
前後どちらが  
いいに注意！



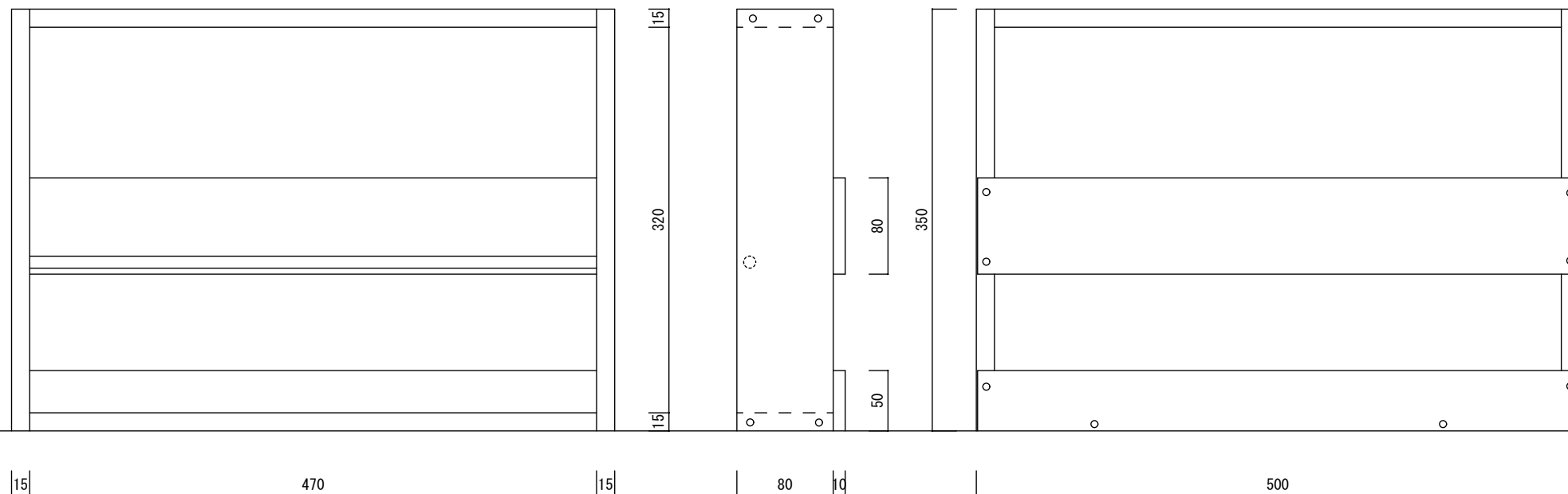
← だいたい真ん中あたり。

← こっちは下に合わせる。

上下左右  
だいたい真ん中に  
取り付けます。

5

組み立てが終わってから、サンドペーパーで角を磨いて完成！！



寸法を変えて作る場合は、バランスに注意してください。

側板から取り付けるビスの長さは板の厚みの2.5~3倍にしてください。(この場合は40ミリです)

角を丸くする場合は、組み立てた後にサンドペーパーを当ててください。